

1 背景と現状

- 刈谷駅周辺には、大規模な事業所や教育施設が複数立地していることから、**通勤・通学**を中心に1日約**8万人**の利用者がある
- 令和8年度には **アジアパラ競技大会**で多くの**観戦客の往来**が見込まれている
- 刈谷市は**ウォーカブル推進都市**を目指しているが、駅周辺の公共施設や商業施設、また事業所への主な**交通手段は車**である

2 解決したい課題

- 駅周辺の大規模事業所や魅力的な公共施設、商業施設へ**安全かつ快適にアクセス**するための**新たな交通手段**を導入したい
- 来街者のまちなかへの誘導や回遊、滞在を高めるための手段の一つとして、**ウォーカブルなまちづくり**を実現したい

3 実現したい未来

- 1年後：新たな交通手段の試験導入並びにウォーカブルなまちづくりによる利用者の課題や効果、短縮時間の検証
- 3年後：新たな交通手段のポート増設、まちなかの快適性と回遊性の向上、来街者の交通手段に対する意識改革
- 5年後：車中心の社会からの脱却、人中心の「ウォーカブルな都市・まちづくり」が推進され、活気とにぎわいがあふれるまちなかが形成

4 想定する解決策や技術

- 駅周辺にシェアリングモビリティなどの**新たなモビリティ**を導入
- 歩いて楽しい、滞在したくなる、人中心の空間の創出
 - 事業の導入にあたり、『多様な主体の共創による収益化→まちづくりに還元→人が集まる→ウォーカブルな都市 + モビリティ利用の促進』という**仕組みづくり**を構築したい